

令和6年度 文化をつなぐミュージアム研修

1 研修の趣旨

博物館の設置者・行政職員等、ミュージアムの地域課題解決や中長期的な将来構想に関係する者に対して、文化政策や、これからのミュージアムに求められる役割に関する基本的な知識に関する研修を行い、政策・企画の立案、管理・運営に関する基礎的な資質の向上を促進する。

2 研修の概要

主 催 者：文化庁

対 象 者：博物館及び設置団体の事務系職員
自治体等で博物館を所管又は登録事務を担当する職員
上記と同様の職務を行うと主催者が認める者

実施期間：令和7年3月27日（木）～28日（金）（2日間）

実施方式：ZOOMによるオンライン（最大280名）

	初任	中堅	ベテラン
管理職			
事務職			
学芸職			

○ ミュージアム・トップマネジメント研修
○ 文化をつなぐミュージアム研修
○ ミュージアムパブリックリレーションズ研修

3 日程とカリキュラム

【3/27(木)】	時間	テーマ	概要
開講式	13:00～13:15	開講式・ガイダンス	
新しいミュージアム像	13:15～14:15	文化をともに育む ～文化的コモンズによる地域づくり～	市民の主体的、自律的な価値創造を進める文化的コモンズとして開かれた文化施設のこれからの在り方を展望する。
	佐々木秀彦	アーツカウンシル東京企画部企画課長	
社会構造の変化と文化施設	14:30～15:30	文化資源をデジタル化して「ひらく」	文化資源のオープン化について、背景としての知財戦略にあわせて、これからの文化振興を実現するためのDXについて学ぶ。
	生貝直人	一橋大学大学院 法学研究科教授	
	15:45～16:45	求められる博物館であるために	博物館が地域の文化拠点となりながら、社会構造の変化に順応していくために必要な要件について考える。
	五月女賢司	大阪国際大学 准教授	
	17:00～17:30	施設管理と運営	博物館施設に必要な機能について、概説するとともに、維持管理に必要な計画や資金調達について学ぶ。
	山口俊浩	文化庁 企画調整課 建築資料調査官	

【3/28(金)】	時間	テーマ	概要
地域社会における文化施設	13:00～14:00	博物館を孤立させない ～文化振興のための博物館支援～	文化政策を担う自治体、その推進拠点となる博物館、両者の連携を千葉県取り組みを例に学ぶ。
	立和名明美	千葉県 文化振興課 学芸振興室長	
新しいミュージアム像	14:15～15:15	博物館の今日的課題	社会構造の変化に伴い、地域や社会への高い貢献が求められる博物館において、事務系・行政職員が果たすべき役割を概観する。
	中尾智行	文化庁 博物館支援調査官	
	15:30～16:30	博物館を取り巻く法令と支援制度	・登録及び指定の促進 ・地方財政措置や税制優遇 ・機能強化事業、DX推進
	荒川瑞穂	文化庁 企画調整課 課長補佐	
質疑応答、事務連絡	16:45～17:30	質疑応答、事務連絡	参加者全員及び文化庁職員による質疑応答。